

H-IIAロケット21号機による
第一期水循環変動観測衛星「しずく」(GCOM-W1) /
韓国多目的実用衛星3号機(KOMPSAT-3)
/ 小型副衛星
の打上げ結果について(速報)

平成24年5月23日

三菱重工業株式会社
航空宇宙事業本部 宇宙事業部
副事業部長
二村 幸基

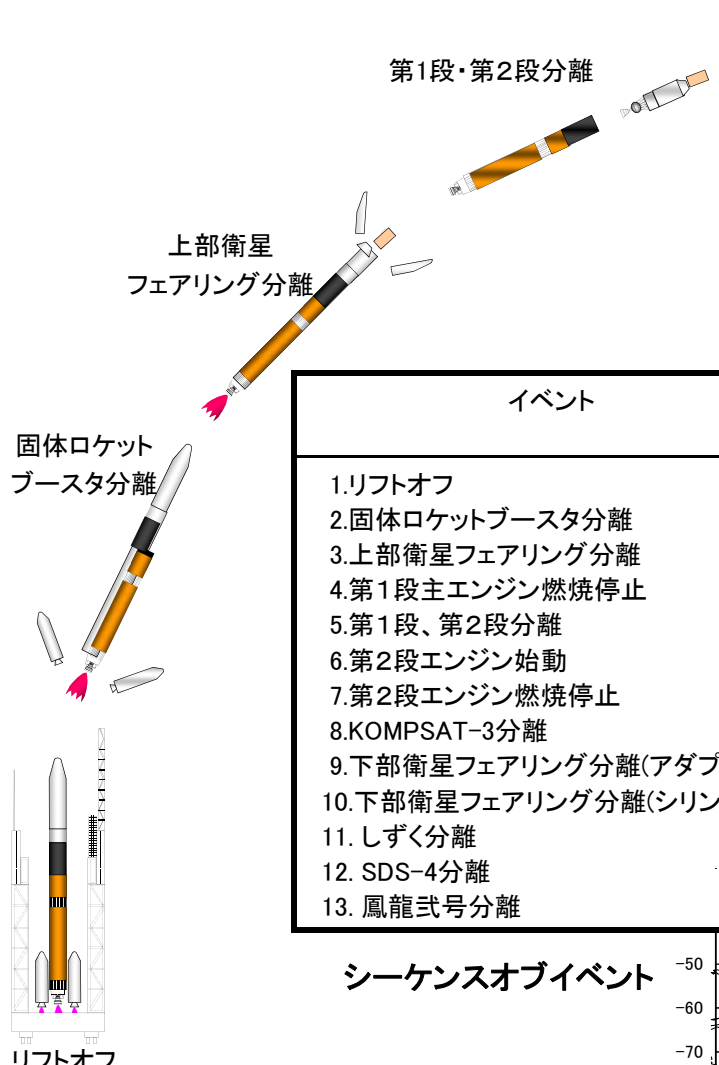
独立行政法人 宇宙航空研究開発機構
宇宙輸送ミッション本部 鹿児島宇宙センター
所長
長尾 隆治

1. 打上げ結果概要

- ▶三菱重工業株式会社(MHI)／宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、平成24年5月18日(金) 1時39分(日本標準時)、種子島宇宙センター吉信射点から、H-IIAロケット21号機を打ち上げた。
- ▶H-IIAロケット21号機は、予定されていた飛行経路を順調に飛行し、リフトオフから16分3秒後に韓国多目的実用衛星3号機「KOMPSAT-3」を、22分59秒後に第一期水循環変動観測衛星「しずく」を所定の軌道に投入した。
- ▶打上げ能力の余裕を活用し、小型副衛星2基「SDS-4」及び「鳳龍弐号」の相乗り打上げを実施。画像により、2基の分離を確認した。
- ▶今回は、民間移管後9回目の打上げであり、MHI／JAXAそれぞれが所定の役割分担のもと連携し、確実な打上げを実施した。
- ▶基幹ロケット高度化に資するため、軌道上における第2段ロケット推進系の技術データを取得する飛行実験を行った。
- ▶現在、フライトデータの詳細評価を実施中である。



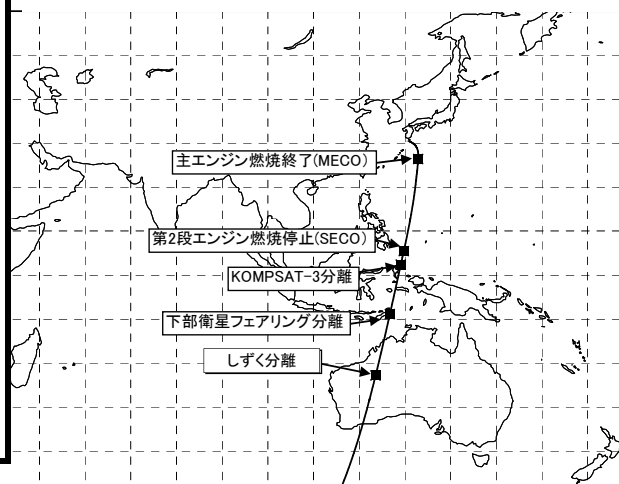
2. 打上げシーケンス及び飛行経路(計画及び実績)



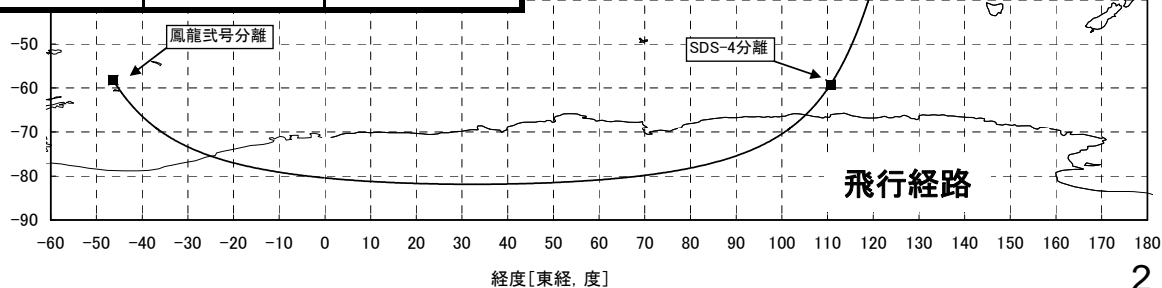
イベント	経過時間 (予測値)	経過時間 (実績値)
1.リフトオフ	0分 0秒	0分 0秒
2.固体ロケットブースタ分離	2分 06秒	2分 05秒
3.上部衛星フェアリング分離	4分 06秒	4分 04秒
4.第1段主エンジン燃焼停止	6分 31秒	6分 30秒
5.第1段、第2段分離	6分 39秒	6分 39秒
6.第2段エンジン始動	6分 45秒	6分 48秒
7.第2段エンジン燃焼停止	15分 22秒	15分 13秒
8.KOMPSAT-3分離	16分 13秒	16分 03秒
9.下部衛星フェアリング分離(アダプタ部)	19分 18秒	19分 08秒
10.下部衛星フェアリング分離(シリンダ部)	19分 23秒	19分 13秒
11.しずく分離	23分 08秒	22分 59秒
12. SDS-4分離	33分 17秒	33分 07秒
13. 鳳龍弐号分離	49分 57秒	49分 47秒

	計画値	決定値
遠地点高度 (km)	682.8	681.6
近地点高度 (km)	672.8	670.7
軌道傾斜角 (deg)	98.2	98.2

しずく軌道投入結果(決定値)



シーケンスオブイベント



3. 打上安全監理実施結果

◆全般

○各系とも計画通り作業を実施し、良好に打上安全監理業務を遂行した。

◆飛行安全系／射場管制系

○ロケットから取得されたデータにより、飛行安全管制業務を実施した。

○射場管制業務を実施し、ロケットの追尾データを計画通り取得した。

◆保安系

○陸上警戒及び海上警戒を計画通り実施し、警戒区域内への船舶の進入及び一般人の立ち入り等、打上げに支障となる事項は発生しなかった。

○事故等発生時に対する準備を計画通り実施した。

◆企画管理系

○関係機関への通報を計画通り実施した。

○天候判断を実施し、打上げに支障となる気象条件がないことを確認した。

以上